

2017
BUSINESS REPORT

HAZAMA ANDO CORPORATION

平成30年3月期
第2四半期報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日

株式会社 安藤・間

(呼称：安藤ハザマ)

証券コード：1719

株主の皆様へ

目 次

株主の皆様へ	1
財務ハイライト	2
事業別の概況	3
連結財務諸表（要約）	5
経営指標	6
当社の概況と今後について	6
主な技術・研究開発	7
安藤ハザマNEWS	8
会社の概況	9
役員・株式の状況	10
株主メモ	11

表紙：日本青年館・日本スポーツ振興センタービル

1925年の初代建物から数えて3代目となる「日本青年館・日本スポーツ振興センタービル」は、国立競技場の新設に伴い、従来からの神宮外苑の地で少し場所を移しての開館となりました。オフィス・ホテル・ホールの機能を持つ複合施設で、1階から4階までを占めるホールの天井には、16階までの上層階を支えて大空間を演出する500tのメガトラス（巨大なトラス構造の梁）が採用されています。メガトラスは、地上で組み上げた後、所定の位置まで吊り上げるリフトアップ工法で設置され、品質確保と工期短縮を図りました。今年7月にホールのこけら落とし公演が行われ、8月にはホテルのグランドオープンを迎え、新しいランドマークとして注目されています。

発注者：一般財団法人 日本青年館

独立行政法人 日本スポーツ振興センター



代表取締役会長

代表取締役社長

小野 俊雄 野村俊明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。はじめに、除染事業における不正行為にて、当社従業員が起訴されたことにつきまして、株主の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。

当社としましては、今回の事態を厳粛に受け止め、失われた信頼を回復すべく、法令遵守の徹底など再発防止に全力で取り組んでまいります。

さて、平成30年3月期第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の事業の状況につきましては、国内景気の緩やかな回復基調が継続し、建設投資についても堅調に推移するなど良好な事業環境となり、利益面では期初計画を上回る成果を上げることが出来ました。これも、ひとえに株主の皆様のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

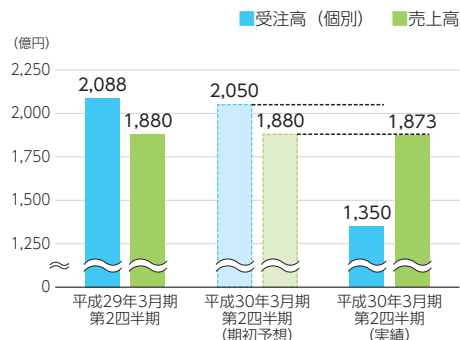
この状況を踏まえ、中間配当につきましては期初見込みの10円といたしますが、平成30年3月期期末については中期経営計画の最終年度末を迎え、本計画の3期いずれも目標利益水準を達成する見通しであることから、期末配当に1株あたり5円の特別配当を加え、普通配当の10円と合わせ15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

受注高・売上高

個別受注高は、土木・建築工事ともに伸び悩み、前年同期比で738億円減少（△35.4%）、期初予想を699億円下回る（△34.1%）、1,350億円となりました。

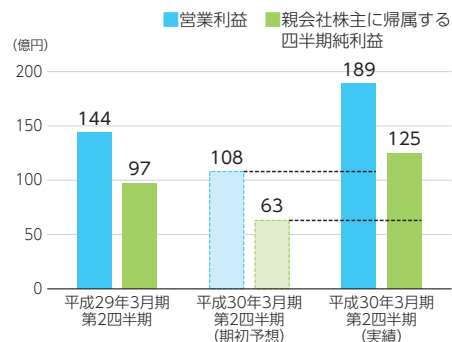
売上高は、国内土木工事を中心に、ほぼ順調に進捗し、概ね期初予想通りとなり、前年同期比で7億円減少（△0.4%）の1,873億円となりました。



利益

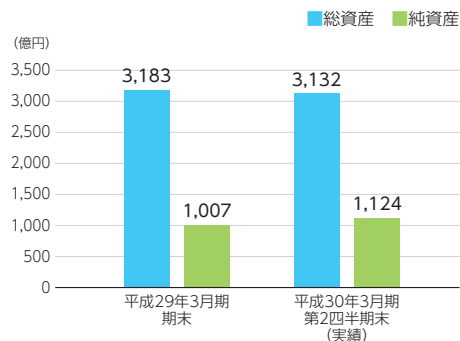
土木事業、建築事業ともに工事採算が向上したこと等により、営業利益は前年同期比で45億円増加（+31.5%）し、期初予想を81億円上回り（+75.8%）、189億円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比で28億円増加（+28.8%）し、期初予想を62億円上回り（+99.0%）、125億円となりました。



財政状態

資産は受取手形・完成工事未収入金等の回収等に伴い、前期末比で51億円減少し、3,132億円となりました。負債は、工事未払金等の減少等により、前期末比で168億円減少し、2,007億円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により、前期末比で117億円増加し、1,124億円となり、自己資本比率は35.6%となりました。



》》》 事業別の概況

土木事業

受 注 高 **338**億円

売 上 高 **642**億円

営業利益 **132**億円

受注高

受注高は、前年同期比で638億円減少（△65.3％）の338億円となりました。事業別の内訳は、官公庁51.3％、民間48.7％であり、海外工事は全体の10.2％です。

（注）受注高等は個別ベースで記載しています。

<主な受注工事>

発注者（敬称略）	工 事 名
ハイチ共和国 公共事業運輸通信省	クロワ・デ・ミッション橋梁及び 新線橋梁架け替え計画
酒田共同火力発電 株式会社	石炭岸壁補強工事ならびに 関連除却工事

売上高・営業利益

売上高は、前年同期比で33億円増加（＋5.5％）の642億円となりました。営業利益は、前年同期比で28億円増加（＋27.3％）の132億円となりました。

<主な完成工事>

発注者（敬称略）	工 事 名
岩手県	越喜来地区海岸災害復旧 （23災519号及び606号）工事
国土交通省 関東地方整備局	中部横断和田トンネル工事



クロワ・デ・ミッション橋梁及び新線橋梁架け替え計画
発注者：ハイチ共和国公共事業運輸通信省



越喜来地区海岸災害復旧（23災519号及び606号）工事
発注者：岩手県

建 築 事 業

受 注 高 **1,011** 億円

売 上 高 **1,052** 億円

営業利益 **73** 億円

受注高

受注高は、前年同期比で99億円減少（△9.0％）の1,011億円となりました。事業別の内訳は、官公庁9.3％、民間90.7％であり、海外工事は全体の7.4％です。

（注）受注高等は個別ベースで記載しています。

<主な受注工事>

発注者（敬称略）	工 事 名
国立府中特定目的会社	DPL国立府中新築工事
東京電力フェュエル＆パワー株式会社	横須賀火力発電所除却工事（エリアB・C）
守山乳業株式会社	（仮称）守山乳業株式会社神奈川工場新築工事

売上高・営業利益

売上高は、前年同期比で52億円減少（△4.8％）の1,052億円となりました。営業利益は、前年同期比で18億円増加（+33.9％）の73億円となりました。

<主な完成工事>

発注者（敬称略）	工 事 名
株式会社エフピコ	（仮称）関東エコペット工場建設工事
一般財団法人日本青年館 独立行政法人日本スポーツ振興センター	日本青年館・日本スポーツ振興センター本部棟新営工事
箱根芦ノ湖ホテル株式会社	（仮称）箱根芦ノ湖計画



DPL国立府中新築工事
発注者：国立府中特定目的会社



（仮称）関東エコペット工場建設工事
発注者：株式会社エフピコ

連結財務諸表（要約）

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	前期末 (平成29年3月31日)	当第2四半期末 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産	262,864	255,211
固定資産	55,522	58,037
有形固定資産	26,508	27,947
無形固定資産	2,440	2,217
投資その他の資産	26,574	27,872
資産合計	318,387	313,248
負債の部		
流動負債	185,909	166,840
固定負債	31,733	33,943
負債合計	217,642	200,784
純資産の部		
株主資本	96,528	107,051
資本金	12,000	12,000
資本剰余金	14,993	14,991
利益剰余金	69,838	80,352
自己株式	△303	△293
その他の包括利益累計額	3,377	4,571
新株予約権	10	8
非支配株主持分	828	833
純資産合計	100,744	112,464
負債純資産合計	318,387	313,248

連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	188,045	187,325
売上原価	162,872	157,736
売上総利益	25,172	29,588
販売費及び一般管理費	10,732	10,602
営業利益	14,440	18,986
営業外収益	517	267
営業外費用	1,727	860
経常利益	13,230	18,393
特別利益	3	24
特別損失	55	175
税金等調整前四半期純利益	13,178	18,243
法人税等	3,429	5,694
四半期純利益	9,748	12,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,735	12,536

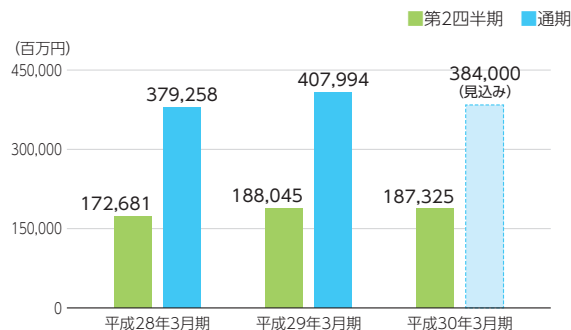
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

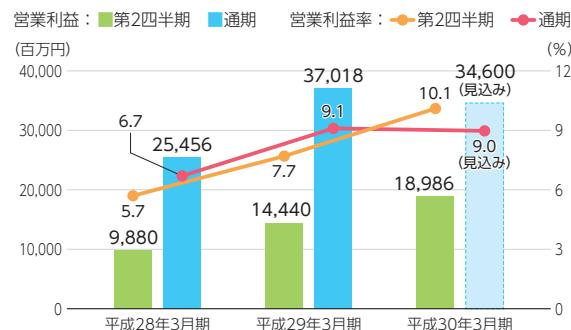
科 目	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△17,494	△4,360
投資活動による キャッシュ・フロー	2,574	△1,325
財務活動による キャッシュ・フロー	805	559
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1,444	43
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△15,559	△5,082
現金及び現金同等物の 期首残高	106,935	107,667
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	48	—
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△328
現金及び現金同等物の 四半期末残高	91,425	102,256

経営指標

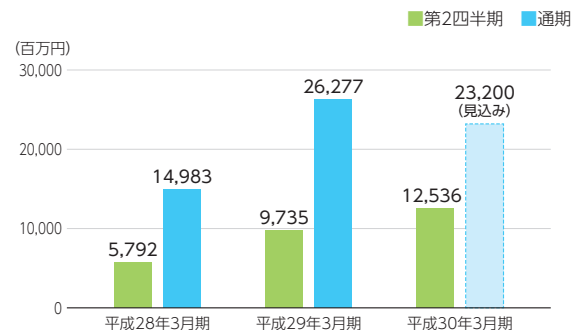
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益



当社の概況と今後について

わが国の経済は、企業収益が改善し、個人消費や民間設備投資の持ち直しを受けて、緩やかな回復基調が続く。今後についても、海外経済の不透明性の高まりによる影響等に留意が必要ではありますが、雇用・所得環境の改善が続く、景気の回復基調が続いていくことが期待されます。

当社グループの主たる事業である建設産業におきましては、建設投資は堅調に推移し、労務需給や原材料価格も安定的であったことから、良好な事業環境にありました。

このような状況のもと、当社は魅力ある企業グループへの変革を目指し、中期経営計画の重点施策に鋭意取り組んでおります。

当上半期においては、生産性向上に向け、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）を活用した技術開発を進めるとともに、今後のプレキャスト製品の適用拡大を見据え、当社グループで2棟目となる同製品の製造工場を千葉市に稼働させました。

労働環境改善の取り組みでは、同業他社に先駆けて全作業所において4週6閉所の目標を掲げるなど、長時間労働の是正、休日取得の適正化等の働き方改革の取り組みを推進し、着実に成果を上げております。

また、採算性重視の施策の定着等により利益水準も向上しており、自己資本比率も着実に改善しております。経営・財務基盤の安定・強化に向けた取組みの成果も表れてきております。

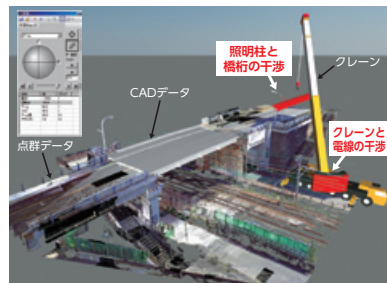
引き続き、中期経営計画の重点施策等を強力に推進し、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。



安藤ハザマ千葉工場

橋梁撤去・架設の3Dシミュレーション技術

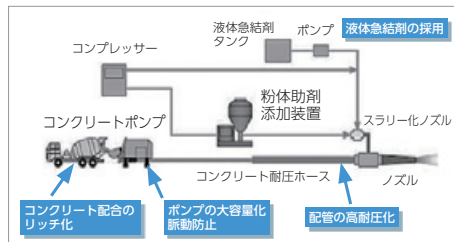
当社は、橋梁撤去・架設工事において、現地状況とクレーンの動きを忠実に再現できる3Dシミュレーション技術を他社と共同開発しました。この技術により、あたかも現地で実際にクレーン操作を行っているかのようなシミュレーションが可能となり、二次元図面の検討では困難であった細部にわたる現地状況やクレーンの動きの把握が可能となり、トラブルや手戻りの未然防止を実現いたしました。



撤去シミュレーション例

山岳トンネルにおける大容量・低リバウンド吹付けコンクリートシステム

当社は、「大容量・低リバウンド吹付けコンクリートシステム」を他社と共同開発しました。吹付けコンクリートの吐出量を大容量化すると壁面に吹付けコンクリートが付着せずに落下するコンクリート（リバウンド）量が増加する問題がありましたが、改良型ポンプの採用や液体急結剤の採用、ベースコンクリートの高規格化により、リバウンドを半減させることで、山岳トンネル工事の吹付けコンクリートの施工時間を大幅に減らすことに成功しました。これにより掘削のサイクル改善を図り、トンネル工事の生産性の向上が可能となります。



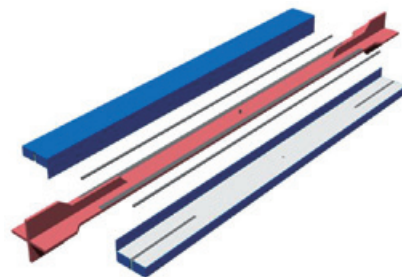
大容量・低リバウンド吹付けコンクリートシステムの概要

座屈拘束ブレース

当社が開発した、「安藤ハザマ座屈拘束ブレース（AH-BRB）」は、地震力に抵抗する芯材を鋼材やコンクリートで覆い、芯材の座屈を防止したブレースです。通常の鉄骨ブレースは、圧縮力を受けると座屈を生じ不安定な挙動を示しますが、座屈拘束ブレースでは芯材が圧縮力を受けた際にも、引張力を受けた場合と同様に安定した耐震性能を示します。

この技術により、建物全体の鉄骨数量の低減に寄与し、ローコスト化を実現できます。

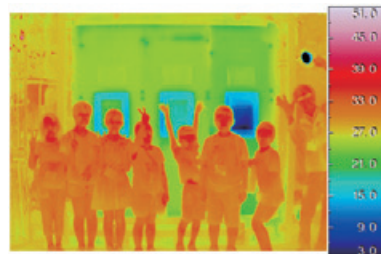
※座屈とは、細長い棒等に、縦方向へ圧力を加え、圧力がある限界値に達すると、急に横方向に湾曲が起る現象を言います。



安藤ハザマ座屈拘束ブレースの構成図

「つくば ちびっ子博士2017」 当社技術研究所で体験型見学会を開催

今年8月、当社は、「つくば ちびっ子博士2017」において、小学生とその保護者を対象に体験型の見学会を開催しました。これは21世紀を担う子どもたちが最先端技術や自然科学に触れることにより、科学技術に対する関心を高め、夢と希望に満ちた未来を考える手がかりを得ることを目的とした科学イベントであり、当社はその趣旨に賛同し社会貢献活動の一環として参画したものです。参加した子どもたちは、技術研究所内の風洞棟、環境棟、音響棟などにおいて工夫を凝らしたプログラムを楽しみながら体験し、さまざまな先端技術や建設産業について学びました。



体験学習で使用したサーモカメラで記念撮影

約5か月間の新入社員研修を実施

今年4月から、茨城県つくば市の技術研究所において新入社員を対象に、約5か月間の長期研修を実施しました。新入社員は約2週間の全体研修後、土木・建築に分かれ、研究所敷地内に設置された模擬現場での施工実習と座学によって、効果的に専門知識を習得します。この長期研修プログラムは2015年度の新入社員研修から導入され、以降、カリキュラムの見直しや研修期間の延長など、改良を重ねながら継続実施しています。当社は、さらなる人材育成の充実に注力していきます。



模擬現場での施工実習風景

第10回を迎えた「ゲンバる」に新キャラクター登場

“安藤ハザマの現場見学レポート「ゲンバる」”は、広報担当と建設ビギナーの2人のキャラクターが全国にある当社の現場を訪れ、そこで働く人たちがものづくりに取り組む様子を紹介する企画です。「ゲンバる」とは「現場」と「がんばる」を組み合わせた造語で、公式ホームページで2015年3月に掲載を開始し、今年、第10回のレポートを掲載しました。これを機にキャラクターも一新し、“アンころ”と“ハザ麻呂”のコンビが登場。今後はレポートの発信はもちろん、キャラクターを活用した広告やグッズの展開に一層積極的に取り組み、建設業の魅力を広く伝えていきます。



新キャラクターの2人

》》》 会社の概況 (平成29年9月30日現在)

商 号 株式会社 安藤・間 (呼称：安藤ハザマ)
(英文名：HAZAMA ANDO CORPORATION)

設 立 平成15年10月1日

資本金 12,000,000,000円

- 目 的**
1. 土木建築その他工事の調査、測量、企画、設計、施工、監理、技術指導の請負、受託およびコンサルティング業務
 2. 工事用品および機械器具の供給
 3. 不動産取引および不動産、有価証券の保有ならびに利用
 4. 土壌の調査・浄化工事の請負、廃棄物の収集、処理、処分等の事業およびこれらに関するコンサルティング業務
 5. 地域開発、都市開発および環境整備等に関する企画、設計ならびにコンサルティング業務
 6. 発電および電気、熱等エネルギーの供給事業およびこれらに関するコンサルティング業務
 7. 建築の請負を伴う不動産関連の特別目的会社への出資および出資持分の売買、ならびに信託受益権の保有および販売
 8. コンピュータの利用に関するソフトウェア、工業所有権およびノウハウの取得、開発、実施許諾ならびに販売
 9. 前各号に付帯する事業
 10. 前各号に関連する事業を他と共同経営しまたは他の事業に投資すること

当社のウェブサイトもご覧ください



<http://www.ad-hzm.co.jp/>

ネットワーク

●国内拠点

本 社 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3600

首都圏建築支店 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3710

関東土木支店 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3730

札幌支店 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西8-1-1
☎011-272-6500

東北支店 〒980-8640 宮城県仙台市青葉区片平1-2-32
☎022-266-8111

北陸支店 〒950-0082 新潟県新潟市中央区東万代町1-22
☎025-243-5577

静岡支店 〒420-8612 静岡県静岡市葵区追手町2-12
☎054-255-3431

名古屋支店 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-8-20
☎052-211-4151

大阪支店 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島6-2-6
☎06-6453-2190

四国支店 〒760-0040 香川県高松市片原町11-1
☎087-826-0826

広島支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町5-3-18
☎082-244-1241

九州支店 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1-8-10
☎092-724-1131

技術研究所 〒305-0822 茨城県つくば市荻間515-1
☎029-858-8800

●海外拠点

タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、カンボジア、スリランカ、ネパール、トルコ、メキシコ、米国、パナマ、ホンジュラス

役員・株式の状況 (平成29年9月30日現在)

取締役および監査役

代表取締役会長	小野俊雄
代表取締役社長	野村俊明
代表取締役副社長	金子治行
取締役副社長 社長室長 兼 管理本部担当	小島秀一
取締役副社長 土木事業本部担当	福富正人
取締役常務執行役員 土木事業本部長 兼 関東土木支店長	池上徹
取締役常務執行役員 建築事業本部長	細渕英男
取締役執行役員 管理本部長 兼 防災担当	宮森伸也
取締役（非常勤）	藤田譲
取締役（非常勤）	藤田正美
取締役（非常勤）	北川真理子
監査役	馬場義彦
監査役	平田公弘
監査役（非常勤）	上村成生
監査役（非常勤）	高原将光

- (注) 1. 藤田譲氏、藤田正美氏および北川真理子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 2. 上村成生氏および高原将光氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。
 3. 当社は、取締役藤田譲氏、藤田正美氏および北川真理子氏、監査役上村成生氏および高原将光氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況

- 発行済株式総数 185,209,189株
- 1単元の株式数 100株
- 株主総数 33,253名
前期末比721名減

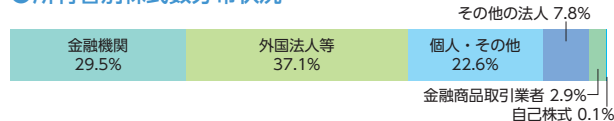
●大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	株式数比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	26,382千株	14.24%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	8,220	4.44
安藤ハザマグループ取引先持株会社	6,633	3.58
株式会社みずほ銀行	4,476	2.42
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	3,180	1.72
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	3,157	1.70
資産管理サービス信託銀行株式会社	2,852	1.54
JP MORGAN CHASE BANK 380634	2,834	1.53
朝日生命保険相互会社	2,616	1.41
RBC ISB A/C LUX NON RESIDENT/ DOMESTIC RATE-UCITS CLIENTS ACCOUNT	2,554	1.38

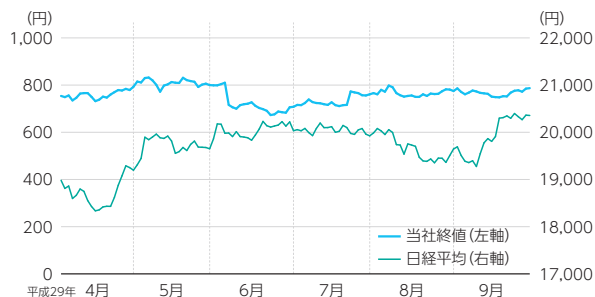
(注) 1. 上記の株式数比率は、自己株式239千株を含めて算出しております。

2. 上記の所有株式数のうち、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社については、信託業務に係る株式数を把握していません。

●所有者別株式数分布状況



●株価の推移



●転換社債型新株予約権付社債の発行について

平成28年3月31日に「2019年満期円貨建取得条項付転換社債型新株予約権付社債」100億円を発行しております。
 平成29年9月30日現在、普通株式への転換は行われておりません。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日（期末配当） 9月30日（中間配当）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 http://www.tr.mufg.jp/daikou/
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料。オペレーター対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード 1719）
公告の方法	当社ホームページに掲載します。 公告掲載URL http://www.ad-hzm.co.jp/ir/announce.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お問い合わせ窓口	
・ 届出住所等の変更届 ・ 配当金の振込指定 ・ 単元未満株式の買取・買増請求 ・ その他株式に関するお問い合わせ	証券会社に口座をお持ちの株主様	口座を開設されている証券会社 ※株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
	証券会社に口座をお持ちでなく、特別口座で株式を保有されている株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ※電話番号などは下記「特別口座に関するお問い合わせ窓口」欄をご覧ください。

特別口座に関するお問い合わせ窓口

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（通話料無料。オペレーター対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時 ※三菱UFJ信託銀行の本店・各支店でもお取り扱いいたします。 ※各種お手続き用紙のご請求は、下記のインターネットでも24時間受け付けております。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/
------------------------	---



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。